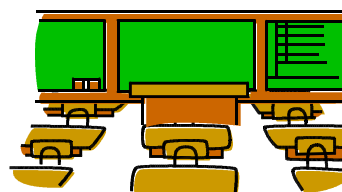


質 問 紙 調 査 に つ い て

児童生徒質問紙では，学習意欲や学習方法，学習環境，生活に関する質問が計83項目，学校質問紙では，学校における指導方法に関する取組や，教育条件の整備の状況に関する質問が計103項目ありました。

その中から，家庭学習，生活習慣，学習内容の理解，学習規律，キャリア教育の5点を抜粋し，考察しました。



※ 調査結果の標記について

- 「やや上回る」「やや下回る」 →全国の平均との差が5%未満の場合
- 「上回る」「下回る」 →全国の平均との差が5%以上の場合

※ 各グラフの縦軸は，本市と全国との違いを明確にするため，グラフ毎にめもりが異なっております。文章上の標記を全国平均との差の目安にしてください。

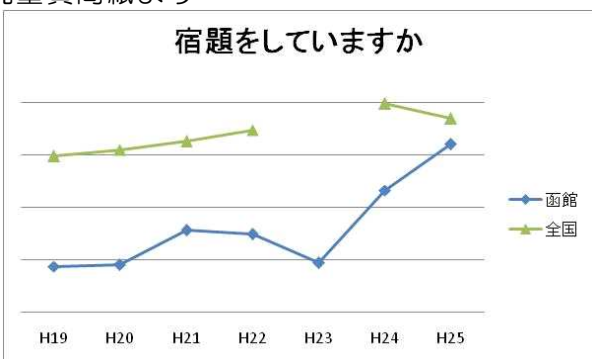
函館市教育委員会

今後の取組例1

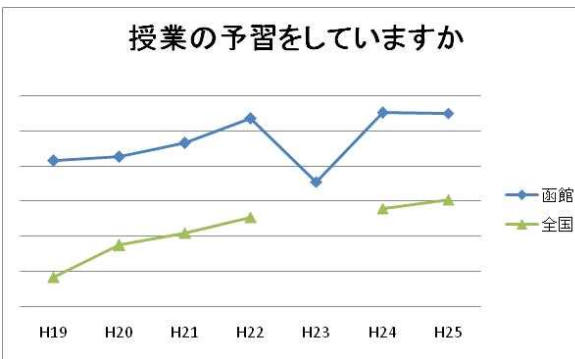
○ 学年×10分を目安に、家庭学習の内容や方法を示しましょう！！

児童質問紙より

宿題をしていますか



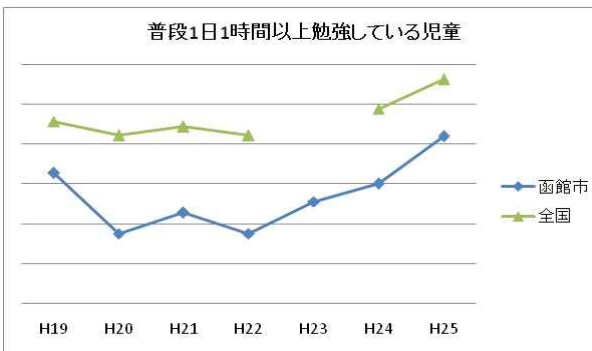
授業の予習をしていますか



○ 宿題に取り組む児童の割合は、全国平均をやや下回っておりますが、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。

○ 予習に取り組む児童の割合は、全国平均をやや上回っており、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。

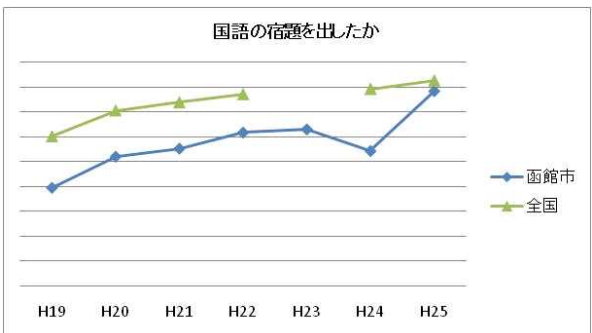
普段1日1時間以上勉強している児童



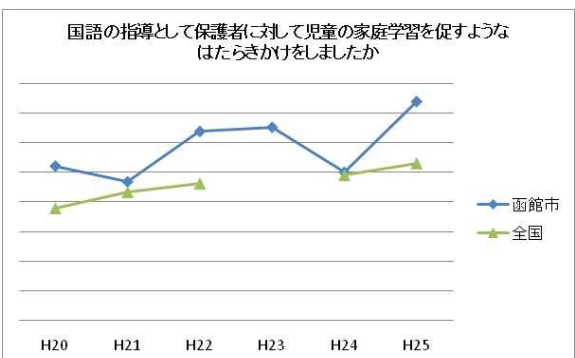
○ 普段1日1時間以上家庭で勉強している児童の割合は、全国平均を下回っています。

学校質問紙より

国語の宿題を出したか



国語の指導として保護者に対して児童の家庭学習を促すようなはたらきかけをしましたか



○ 国語の宿題を出している学校の割合は、全国平均をやや下回っておりますが、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。

○ 国語の課題について保護者に対して働きかけを行っている学校の割合は、全国平均を上回っており、本市の平成20年度と比較すると増加の傾向が見られます。

※ 算数でも同様の傾向が見られます。

学校が宿題を出す割合、児童が取り組む割合は年々増加する傾向が見られます。児童が宿題だけではなく、自分から勉強に取り組むように、学年×10分の学習時間を目安として、学習する内容や方法を具体的に指導することが大切です。

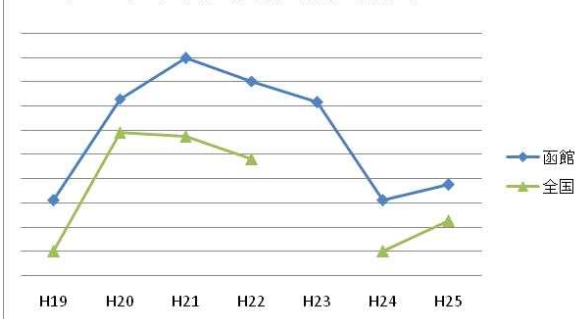
※ H23 は、抽出調査のため、全国平均のデータがありません。

今後の取組例2

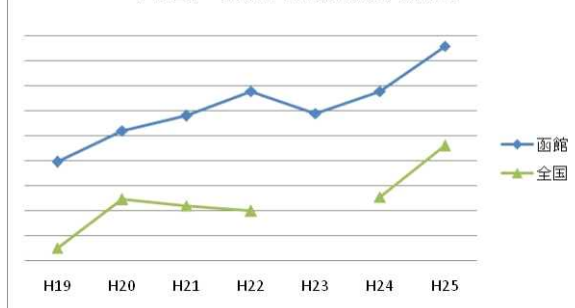
○ 家庭でのルールをつくりましょう！！

児童質問紙より

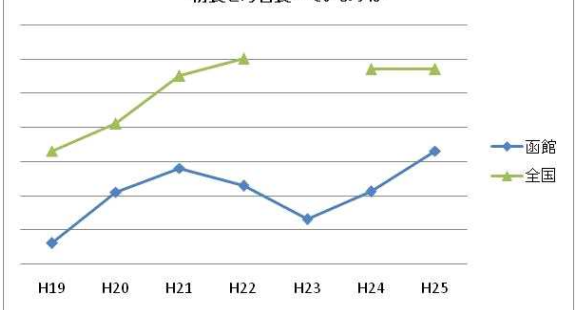
テレビやビデオを2時間以上見ている児童



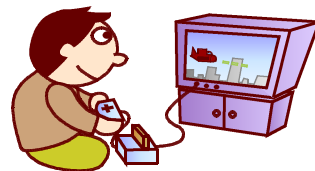
テレビゲームを2時間以上している児童



朝食を毎日食べていますか

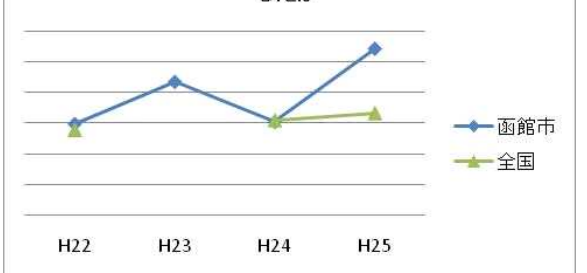


- テレビやビデオを2時間以上見ている児童の割合は、全国平均をやや上回っています。
- テレビゲームを2時間以上している児童の割合は、全国平均をやや上回っています。
- 朝食を毎日食べている児童の割合は、全国平均を下回っていますが、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。



学校質問紙より

家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか



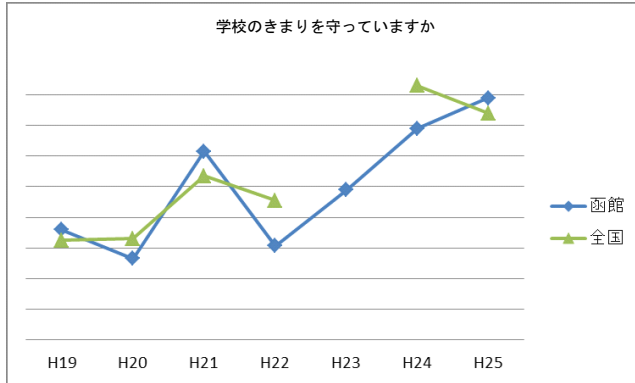
- 家庭での学習方法等の具体例を挙げながら教えている学校の割合は、全国平均を上回っています。

テレビ等の視聴時間やゲームに取り組む時間が長い傾向が見られます。
家庭での学習方法等について、保護者に対して働きかけを行っている割合が増加していることから、勉強時間、テレビ等の視聴時間、ゲームの時間について、1日の生活表などを作成するなど、家庭と学校が連携してルールを作ることが大切です。

今後の取組例4

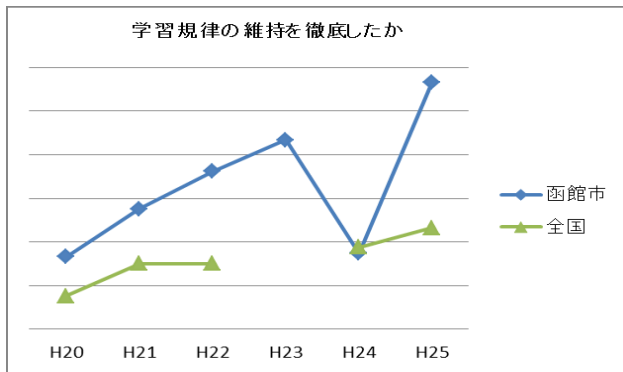
○ 学習規律の定着を目指しましょう！！

児童質問紙より



○ 学校のきまりを守っている児童の割合は、全国平均をやや上回っています。本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。

学校質問紙より

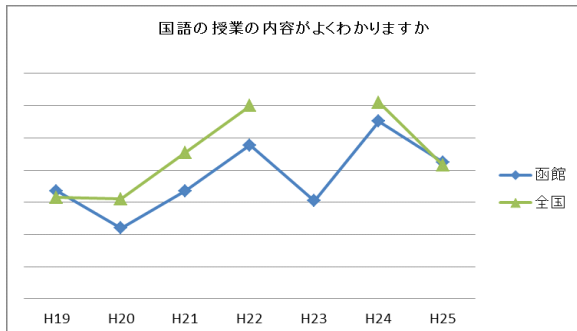


○ 学習規律の維持を徹底した学校の割合は、全国平均を上回っています。本市の平成20年度と比較すると増加の傾向が見られます。

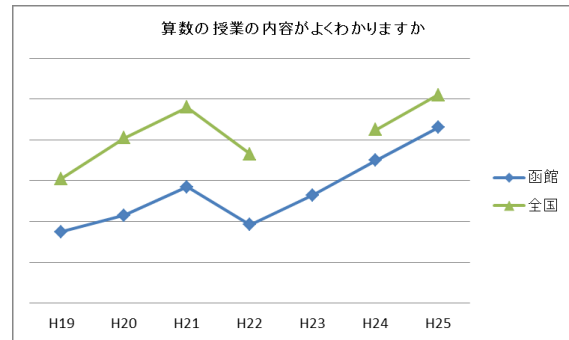
平成25年度、学習規律の維持を徹底した学校の割合が、全国に比べて大きく上回っていることから、今後も、学習の基盤となる学習規律の定着を図っていくことが大切です。

今後の取組例3
 ○ 問題解決的な学習の充実を図りましょう！！

児童質問紙より

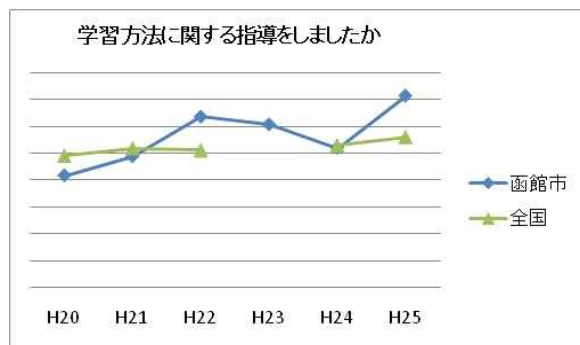


- 国語の授業がよく分かったと回答した児童の割合は、全国平均をやや上回っており、平成19年度の本市の結果と比較すると増加の傾向が見られます。

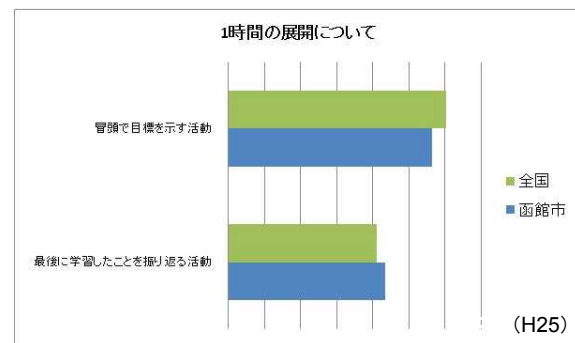


- 算数の授業がよく分かったと回答した児童の割合は、全国平均をやや下回っており、平成19年度の本市の結果と比較すると増加の傾向が見られます。

学校質問紙より



- 学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導については全国平均を上回っており、本市の平成20年度と比較すると増加の傾向が見られます。

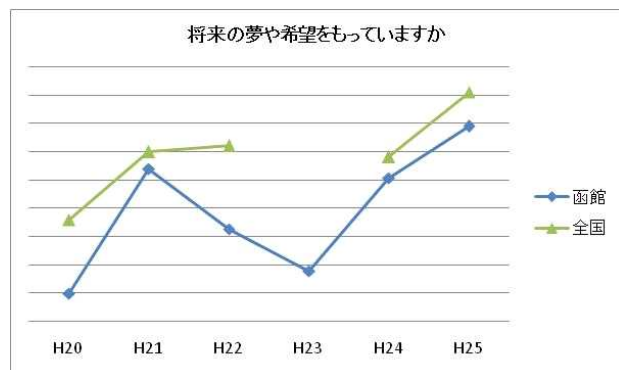


- 最後に学習したことを振り返る活動については、全国平均をやや上回っています。
- 授業の冒頭に目標を示す活動については、全国平均をやや下回っています。

国語、算数の授業がよくわかると回答した児童は平成19年度に比べて増加していますが、算数は全国よりも低い傾向にあります。学習方法に関する指導や授業の最後に振り返る活動を行う割合が全国よりも高い傾向にあること、授業の冒頭で目標を示す割合が全国よりも低い傾向にあることから、学習課題を児童に示すとともに、授業のまとめを必ず行うなど、学習過程を明確にした指導を一層重視する必要があります。

今後の取組例 5
○ キャリア教育の内容の工夫・改善を！！

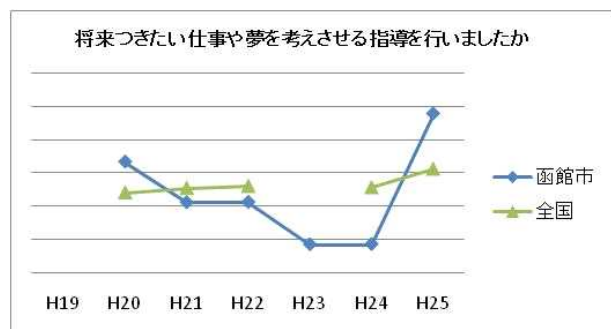
児童質問紙より



○ 将来の夢や目標をもっていると回答した児童の割合は、全国平均をやや下回っておりますが、平成20年度の本市の結果と比較すると増加の傾向が見られます。



学校質問紙より



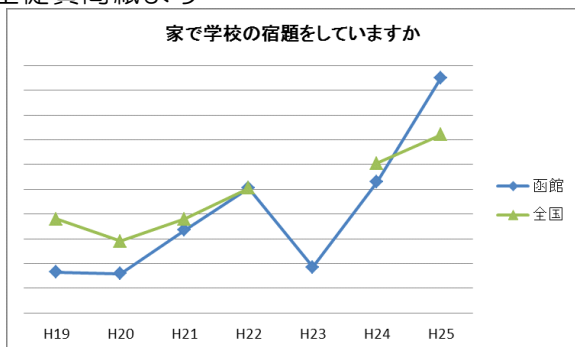
○ 児童に将来つきたい仕事や夢を考えさせる指導については、全国平均を上回っており、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。

学校においては、児童に将来つきたい仕事や夢を考えさせる指導を行う割合が高くなっていますが、将来の夢や希望をもっている児童の割合は全国に比べて低い傾向が見られます。家庭や学校で夢を実現することの大切さを話す機会を作ったり、学校におけるキャリア教育の内容の工夫・改善を一層図ったりすることが大切です。

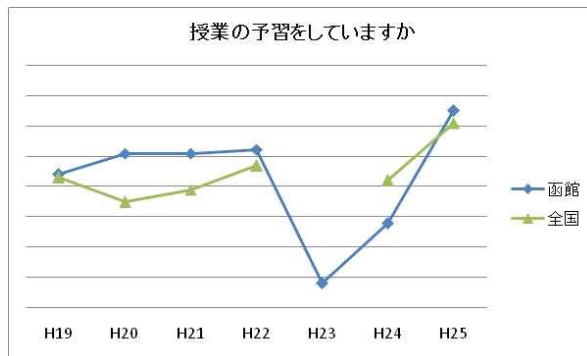
今後の取組例1

○ 学年×10分を目安に、家庭学習の内容や方法を示しましょう！！

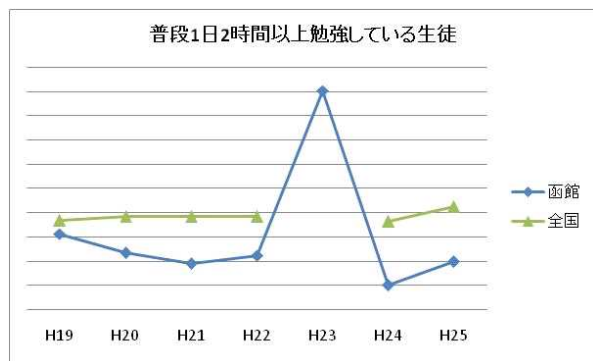
生徒質問紙より



○ 宿題に取り組む生徒の割合は、全国平均をやや上回っており、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。



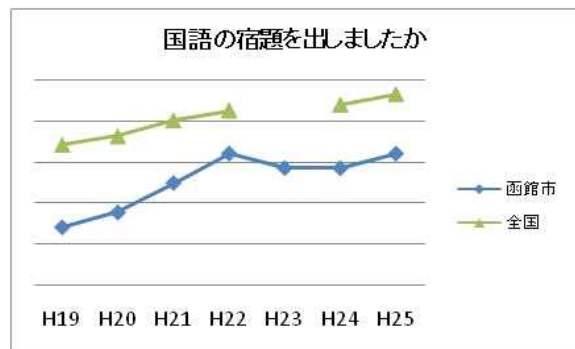
○ 予習に取り組む生徒の割合は、全国平均をやや上回っており、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。



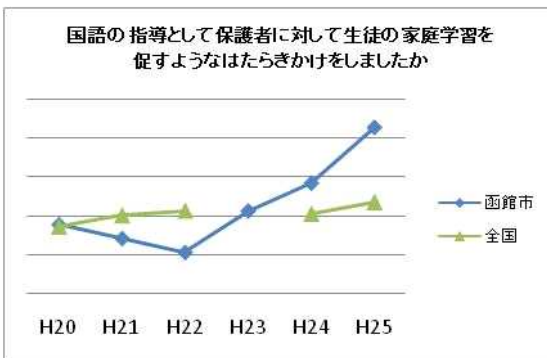
● 普段1日2時間以上家庭で勉強している生徒の割合は、全国平均をやや下回っています。



学校質問紙より



○ 国語の宿題を出している学校の割合は、全国平均を下回っておりますが、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。



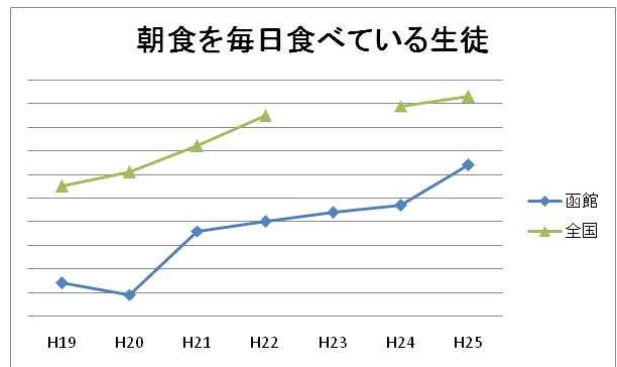
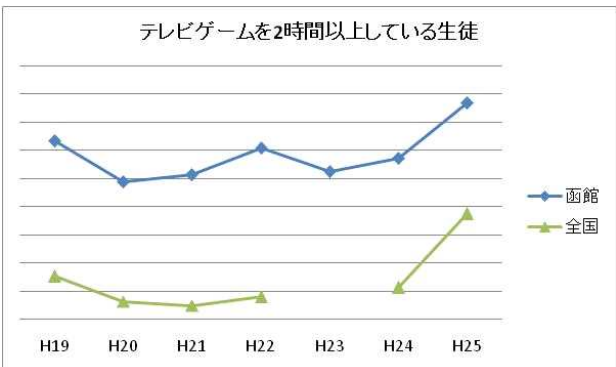
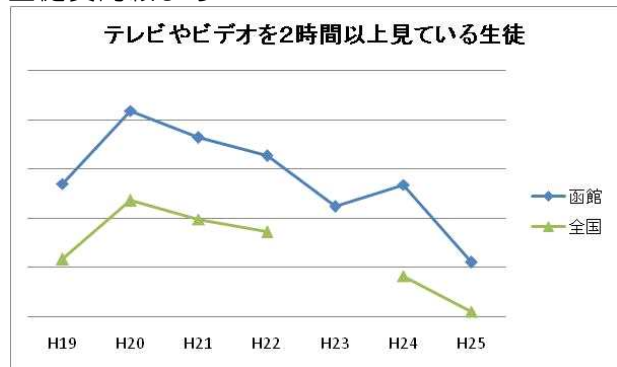
○ 国語の課題について保護者に対して働きかけを行っている学校の割合は、全国平均を上回っており、本市の平成20年度と比較すると増加の傾向が見られます。

※ 数学でも同様の傾向が見られます。

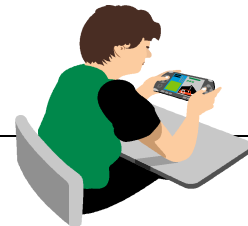
学校が宿題を出す割合、生徒が取り組む割合は年々増加する傾向が見られます。生徒が宿題だけではなく、自分から勉強に取り組むように、2時間の学習時間を目安として、学習する内容や方法を具体的に指導することが大切です。

今後の取組例2
○ 家庭でのルールをつくりましょう！！

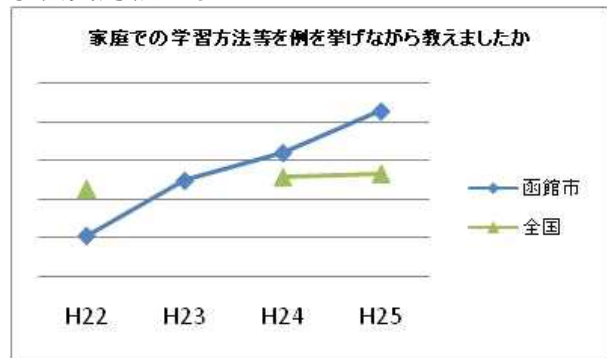
生徒質問紙より



- テレビやビデオを2時間以上見ている生徒の割合は、全国平均を上回っています。
- テレビゲームを2時間以上している生徒の割合は、全国平均を上回っています。
- 朝食を毎日食べている生徒の割合は、全国平均を下回っていますが、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。



学校質問紙より



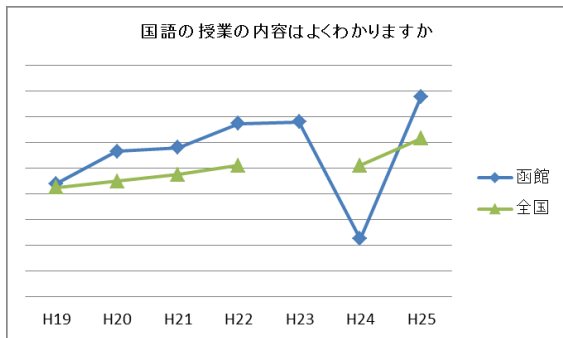
- 家庭での学習方法等の具体例を挙げながら教えている学校の割合は、全国平均を上回っています。

テレビ等の視聴時間やゲームに取り組む時間が長い傾向が見られます。
家庭での学習方法等について、保護者に対して働きかけを行っている割合が増加していることから、勉強時間、テレビ等の視聴時間、ゲームの時間について、1日の生活表などを作成するなど、家庭と学校が連携してルールを作ることが大切です。

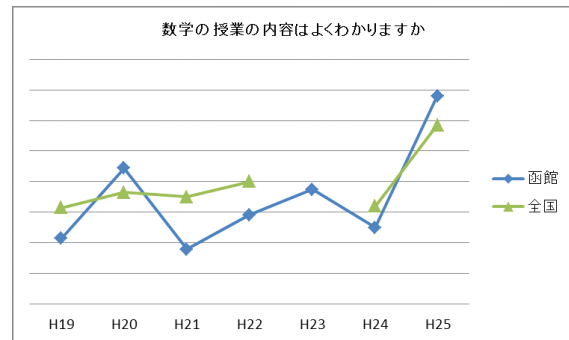
今後の取組例3

○ 問題解決的な学習の充実を図りましょう！！

生徒質問紙より

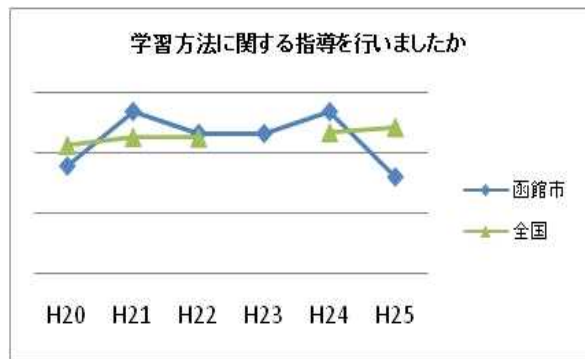


○ 国語の授業がよく分かったと回答した生徒の割合は、全国平均をやや上回っており、平成19年度の本市の結果と比較すると増加の傾向が見られます。

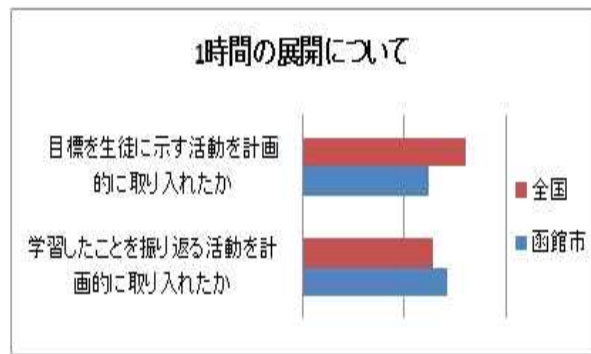


○ 数学の授業がよく分かったと回答した生徒の割合は、全国平均をやや上回っており、平成19年度の本市の結果と比較すると増加の傾向が見られます。

学校質問紙より



○ 学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導については全国平均を下回っています。



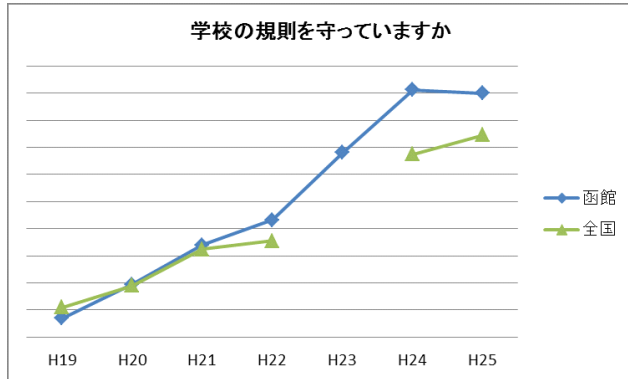
○ 最後に学習したことを振り返る活動については、全国平均をやや上回っています。
 ● 授業の冒頭に目標を示す活動については、全国平均を下回っています。

国語、数学の授業がよくわかると回答した生徒は平成19年度に比べて増加していますが、数学は全国よりも低い傾向にあります。学習方法に関する指導や授業の最後に振り返る活動を行う割合が全国よりも高い傾向にあること、授業の冒頭で目標を示す割合が全国よりも低い傾向にあることから、学習課題を生徒に示すとともに、授業のまとめを必ず行うなど、学習過程を明確にした指導を一層重視する必要があります。

今後の取組例4

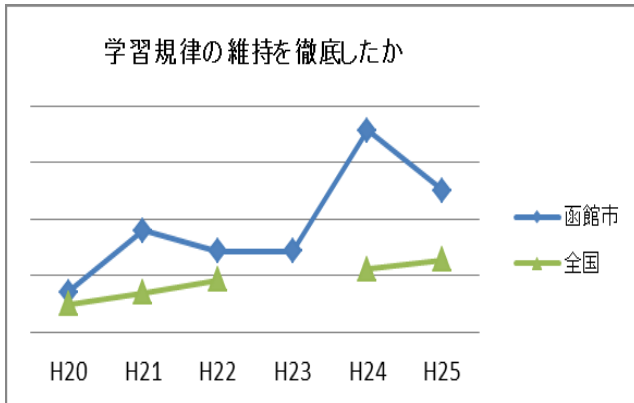
○ 学習規律の定着を目指しましょう！！

生徒質問紙より



○ 学校のきまりを守っている生徒の割合は、全国平均をやや上回っており、本市の平成19年度と比較すると増加の傾向が見られます。

学校質問紙より

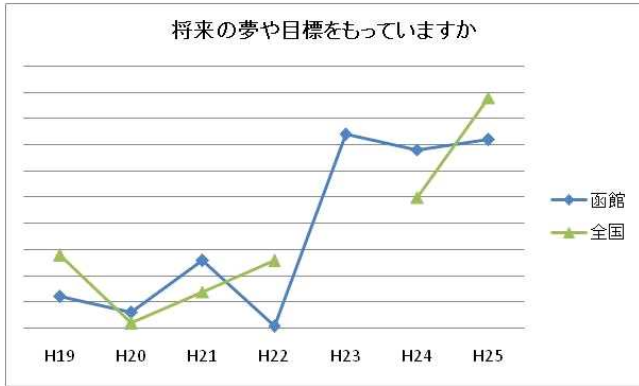


○ 学習規律の維持の徹底した学校の割合は、全国平均を上回っており、本市の平成20年度と比較すると増加の傾向が見られます。

平成25年度、学習規律の維持を徹底した割合が全国に比べて大きく上回っていることから、今後も、学習の基盤となる学習規律の定着を図っていくことが大切です。

今後の取組例5
 ○ キャリア教育の内容の工夫・改善を！！

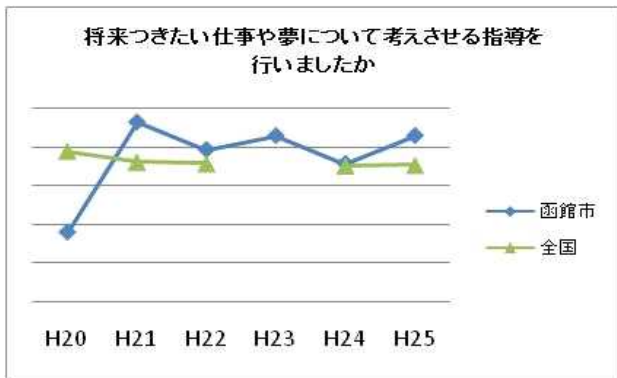
生徒質問紙より



○ 将来の夢や目標をもっていると回答した児童の割合は、全国平均をやや下回っておりますが、平成19年度の本市の結果と比較すると増加の傾向が見られます。



学校質問紙より



○ 児童に将来つきたい仕事や夢を考えさせる指導については、全国平均を上回っており、本市の平成20年度と比較しても増加の傾向が見られます。

学校においては、生徒に将来つきたい仕事や夢を考えさせる指導を行う割合が高くなっていますが、将来の夢や希望をもっている生徒の割合は全国に比べて低い傾向が見られます。家庭や学校で夢を実現することの大切さを話す機会を作ったり、学校におけるキャリア教育の内容の工夫・改善を一層図ったりすることが大切です。